

令和6年度第3回大網白里市地域公共交通活性化協議会 議事録

- 1 日 時 令和6年12月17日（火）午前10時から
- 2 場 所 大網白里市保健文化センター 3階ホール
- 3 出席者 別紙委員名簿のとおり
- 4 配付資料
 - ・ 次第
 - ・ 委員名簿
 - ・ 席次
 - ・ 白里地区コミュニティバスの運行実績

資料1 令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価及び添付書類

資料2-1、資料2-2 大網白里市地域公共交通計画の評価等の結果に係る資料

資料3-1～資料3-3 地域公共交通変更届出書及び添付資料

資料4 公共交通に関するアンケート調査の結果について

資料5 瑞穂地区への新たな公共交通の導入検討について

資料6 瑞穂地区 コミュニティバスルート（案）

参考 瑞穂地区 地図

参考 公共交通に関するアンケート調査結果・アンケート調査票

1 開会

（事務局：久保）

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。はじめに、本日は委員18名中、委員17名の出席をいただいていることをご報告申し上げます。

なお、成田委員、田中委員、森田委員につきましては、欠席のご連絡をいただいております。

それでは、会議開会に先立ちまして、お手元の配付資料を確認させていただきます。本日の会議資料でございますが、事前に送付した資料と、本日配付した資料がございます。

～配付資料について確認～

なお、携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切りいただきますようご協力をお願いいたします。

また、本日は、大網白里市地域公共交通活性化協議会傍聴規則に基づき、1名の方が、傍聴されておりますので、ご報告いたします。

それでは、定刻となりましたので、これより、令和6年度第3回大網白里市地域公共交通活性化協議会を開会いたします。

次第に沿いまして、進めさせていただきます。

2 会長挨拶

(事務局：久保)

はじめに、次第2の会長挨拶でございます。当会の会長であります、轟会長からご挨拶を頂戴したいと存じます。轟会長、よろしくお願いいたします。

～会長挨拶～

(事務局：久保)

ありがとうございました。

それではこれより議題に入らせていただきますが、協議会規約第8条第1項の規定により、議長を轟会長にお願いいたします。

3 議題

(轟会長)

それでは、規約により進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

次第をご覧くださいまして議題としては、(1)から(6)まで、準備いただいております。

それでは順番に参ります。

議題(1)、令和6年度、地域公共交通確保維持改善事業の事業評価についてです。

事務局より説明をお願いいたします。

(事務局：齋藤（裕）)

～事務局より議題（1）について説明～

(轟会長)

ありがとうございました。本件に関してご質問ご意見等ございますでしょうか。

(小野委員)

小野と申します。目標と効果達成状況の1便平均利用者数の目標について、増穂地区は1日8.5人で、白里地区は、1日2.5人という設定になっていますが、この設定の根拠を教えてくださいませんか。

(事務局)

こちらにつきましては、令和4年3月に発行しております地域公共交通計画、この計画に基づいて、5年間の枠組みで目標を立てていくというような形になっておりまして、計画の82ページに記載されておりますが、コミュニティバス利用者数の現状維持を目標としておりまして、令和元年度の利用者数を目標値に設定しております。また、フィーダー補助金をいただくに当たりまして1便当たり2人以上というような基準がございますので、最低限そこは保ちつつ、少しずつ増加をするような形で計画を立てているというところでございます。

(小野委員)

分かりました。

ただですね、利用者数の現状維持となると、住民数が減ってしまったら、その目標値そのものが大きく崩れかねない。

もしくは、住民が減少しているのならば、利用者目標もそれを加味し、高齢者や免許返納者がこれだけの数いるから、これだけの利用者が見込まれていると分析して目標値を設定する必要があると思います。

また、コミュニティバスですべての空白地域が解消できると思っていません。

人口減少や高齢化が進行していく中で、公共交通を利用する年齢層は増えていくことも考えられますので、今後またニーズを踏まえた中で、いろいろな施策については考えていきたいと思いますが、現状については、路線バスもありますし、地元のタクシーもありますので、すべて含めた中で、市だけで解決できる問題ではないので、こういった協議会の中でいろいろな意見を伺いながら市の方でも方策については考えていく必要があると思います。

曖昧な基準を立てるのではなく、バス停から1km圏内にはこれだけの人が居て、免許返納者がこれだけいるからみたい、数値の設定根拠を明確にすることが大事だと思います。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。

一応、補足説明としまして、バス停から1km以内というのは、バスの利用範囲ではなくて公共交通空白地域の定義となりまして、免許返納者の人数につきましては、警察に情報提供を求めているところですが、数値を把握することが難しいのが現状です。

また、次期公共交通計画の見直し時には、数値の設定根拠等の見直しが必要になると思いますので、計画見直し時のアンケートでは、免許返納の状況やニーズ等について伺い、計画に反映させていきたいと考えております。

(小野委員)

ありがとうございました。

(轟会長)

資料1の最後から2枚目のページに利用者数と収支率が出ていますが、利用者数が増えていて収支率が下がっている理由はなぜでしょうか？

(事務局)

こちらにつきまして、利用者数は増えておりますが、燃料費・人件費高騰の影響により、委託料が年々高くなっております。

このため、収支率は前年と比較して、低くなっているのが現状です。

(轟会長)

分かりました。

この資料1コミュニティバスの目標値について、増穂地区については目標自体をもう少し高めの目標を立ててもいいかなと感じております。

一方で白里地区の方が厳しい状況ではありますが、先ほど小野委員からもありましたとおり、

需要予測を立てて、目標値の設定をしていただければと思います。

1便あたり2人を下回ってしまうと、国からの補助をいただけなくなってしまうということです。重要な点であると思います。

その他、よろしいでしょうか。

それでは、議題(1)「令和6年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について」協議会として承認し、国へ提出するということでご異議ございませんでしょうか。

～異議無し～

ありがとうございました。

それでは次の議題に移ります。議題(2)「地域公共交通計画の評価について」事務局の説明をお願いします。

(事務局：齋藤(裕))

～事務局より議題(2)について説明～

(轟会長)

ありがとうございました。本件に関してご質問ご意見等ございますでしょうか。

(小野委員)

資料2-2についてですが、路線バスの利用者数の維持について、令和元年度の実績が約44万人、令和5年度が約47万人で約3万人増加していますが、事務局より通学定期補助が要因の1つだと思われるので説明がありましたが、そのあたりの根拠等がありますか？

(深山委員)

実際その通学定期の補助というのは大きく影響があると思います。

他には、運行ダイヤの改正・微調整も行いましたので、その影響もあるかと思われます。

(小野委員)

わかりました。

別件とはなりますが、この場を借りて1点要望を上げさせていただきます。

以前、大網駅から白里方面の終バスは遅い時間まであったのですが、今は21時頃までしかありません。もう少し終バスを遅い時間にしてもらえないでしょうか。

(深山委員)

そちらにつきましては、運転手不足により、遅い時間の運転士を次の日に回せない環境であったので、どうしても終バスの時間を早める必要があったというところと、あとはやはりコロナ禍の中で、利用者が大きく減ってきた中で、やはり深夜時間体の利用者が大きく減ってしまったことが要因となっております。

我々としまでも、以前の状況に戻したいところではありますが、運転手不足等により、追いついていないのが現状です。

(小野委員)

小湊鐵道の方に、終バス時間について要望等は届いていないのですか？

(深山委員)

そのような要望はございません。

(小野委員)

分かりました。

(轟会長)

今説明していただいたような取り組みは、資料2の取組にも記載する必要があると思います。むしろ書かないと、今のようなご質問も出ると思いますので、取組状況を追記したうえで国へ提出していただければと思います。

他にご意見等ありますでしょうか？

(伊藤委員)

評価というより事業内容について教えていただきたいのですが、資料2-2の上から3番目の高齢者外出支援事業バスについて、最近国の方で公共交通のリデザイン、要は再構築の必要性について議論されておりまして、いろんな交通手段を総動員して、公共交通を維持することなのですが、それに通じるものがあると感じました。

病院の送迎バスの空きを活用しているということですが、制度の詳細について教えていただきたいです。

(事務局)

本事業につきましては、市内の整形外科様にご協力いただきまして、病院の送迎バスが空いていれば、乗車できるものとなっております。市内在住の65歳以上の方で、パスカードをお持ちの方が利用できます。

(伊藤委員)

ありがとうございます。

大変有効な施策だと思いますので、更に活用してもらえるように周知していただければと思います。

(堀江副会長)

資料2-2の裏面、下から2行目のコミュニティバスの収支率上昇について、コミュニティバスに掲載されている有料広告の収入実績を教えてください。

また、バス事業者様につきましても、路線バスに掲載されている広告の相場についてお聞きしたいです。

(事務局)

コミュニティバスにつきましては、増穂・白里両路線の合計で30万円となります。

(深山委員)

現在、手持ち資料がないため、お答えできません。

(中村委員)

千葉中央バスにつきましては、広告代理店さんに媒体を買い取りしていただいているところですので、1件あたりで例えば年間幾らだとか、そのあたりの数字は明確にお答えすることが難しいです。

なのでまたその地域の特性とか、こういったところもあると思いますので、なかなか判断難しいと思います。

(堀江副会長)

ありがとうございました。

(小野委員)

資料2-2の表面、上から2行目、アンケート調査に基づく公共交通全般に関する満足度の上昇について、結果的には前回と比較して若干低下した形になりましたが、アンケート結果を分析して、なぜ満足度が低下したとお考えか、教えていただきたい。

(事務局)

後ほど議題でも説明させていただきますが、アンケートの自由意見では、昨年3月にみずほ台循環バスの休止・運転手不足によるダイヤ改正、また、JRのダイヤ改正等もありましたので、このような要因で若干満足度が低下したと感じております。

(小野委員)

分かりました。

できれば、資料にそのあたりの分析等を記載した方が良いと思います。

(轟会長)

その他いかがでしょうか。

それでは、今ありました様に、議題（2）については、現状の取組・アンケート結果から分かる分析等を資料に追記していただき、国へ提出するというごことでご異議ございませんでしょうか。

～異議無し～

それでは次の議題に移ります。議題（3）「令和7年度地域公共交通確保維持改善事業・地域公共交通計画の変更について」事務局の説明をお願いします。

(事務局：齋藤（裕）)

～事務局より議題（３）について説明～

(轟会長)

ありがとうございました。

千葉中央バスさんの名称が変わることに伴う、書類の修正ということですので、問題ないかと思しますので、議題（３）について承認し、国へ提出するということによろしいでしょうか。

～異議無し～

それでは次の議題に移りますが、議題（４）「公共交通に関するアンケート調査の結果について」議題（５）「瑞穂地区への新たな公共交通の導入検討について」は関連があるため、一括して事務局より説明をお願いします。

(事務局：齋藤（裕）)

～事務局より議題（４）、（５）について説明～

(轟会長)

ありがとうございました。本件に関してご質問ご意見等ございますでしょうか。

(小林委員)

2点質問がありまして、1点目は参考に伺いたいのが、資料4のアンケートの調査の概要で調査対象が65歳以上の世帯1776世帯とあるのですが、この1776世帯が、全体の何%ぐらいなのか、大まかでも教えていただけたらと思います。

2点目は資料5について、地元地区の説明会を令和7年2月から3月頃に実施、運行開始を令和8年度目標ということは、令和7年中にいろいろな議論とか、事業者さんとの調整をすると思うのですが、具体的に事業者との調整をいつごろ実施する等、今後のスケジュールを決まっている範囲でご教示いただければと思います。

(事務局)

まず、1点目の世帯数につきましては、瑞穂地区の総世帯数が約5500世帯となりまして、調査実施世帯が1776世帯ですので、全体の約3分の1程度となっております。

はい。

2点目、今後のスケジュールにつきましては、令和8年度から運行開始を目標としておりまして、先ほども説明した通り、年明け2月から3月頃に、地元地区の説明会を実施し、運行計画及び運行ルート（案）についてご意見をいただく予定です。

その後、春ごろに活性化協議会にてその結果を報告させていただきまして、夏頃から秋頃にかけて、運行事業者の選定や契約に関わる準備を進める予定です。

その後、12月の活性化協議会にて、再度進捗状況の報告等をさせていただきまして、運輸局の方に届け出関係の書類を提出し、令和8年4月から運行開始を目標としております。

(小林委員)

ありがとうございました。

(深山委員)

小湊鐵道の深山です。

みずほ台循環自体の運行を休止してしまっている立場としましては、大変申し訳なく思っております。

ですので、瑞穂地区から大網駅までの運行ルートについて特段意見等はありませんが、大網駅から大網病院までのルートに関しましては、弊社の路線バスが運行している区間であり、競合区間になってしまうところです。

大網駅・大網病院・アミリィ等をコミュニティバスの行き先に設定されてしまうと、弊社の路線バスに影響が発生すると思われますので、ルート（案）の変更をお願いしたいところです。

仮にルートの変更ができないのであれば、小湊鐵道としては、本件について承認できないところです。

(轟会長)

若干私もこの場所だけではなくて他の路線との関連というのを伺いたかったので、休止している路線も含めて、全体像を提示されないと分かりにくい部分もあるかと思います。

そのあたりも含めて、本コミュニティバスのルート（案）等については、まだ検討の余地があるとあり、確定事項ではないということですのでよろしいでしょうか。

(事務局)

そうなります。

(永田委員)

公募委員の永田です。

大網駅から先のルートが路線バスとバッティングしてしまうという事ですが、大網病院へ通院する方は、健常者と比べると、高齢者等の身体的ハンデがある方が多いところです。それをかんがみると、コミバスで大網駅まで行き、そこから路線バスに乗り換える不便さや、路線バスのバス停から大網病院まで歩くと多少時間はかかります。

体調の悪い方や、高齢者等が路線バスに乗り換えてまで、コミュニティバスを利用するかどうかというのがルートを決める大きな判断材料になると思います。

当然のことながら、利用料金も割引制度があつたとしても、直通で目的地まで行くより高くなりますし、アンケート調査の中でありますように、目的地としては、大網病院がトップの214件になっています。

もし、大網病院が行き先から外れたら、コミュニティバスが成立するのかなと思います。

もう1点ありまして、先ほどコミュニティバスと路線バスが競合区間になるとありましたが、私は逆に、このコミバスと路線バスの相乗効果はあると思います。

それは何かというと、先ほどのアンケート結果の中に、例えば大網白里アリーナとか中部コミュニティセンターが結構入っています。

ご承知の通り、大網白里アリーナっていうのはいわゆる体育施設があり、高齢者でも、定期的に通われている方が一定数いらっしゃいます。

他にも、白里地区のコスモス荘では、高齢者のイベント等が開催されています。

このような事を考えると、高齢者の定期的な外出支援にも繋がっていくと思われます。逆に言うと、路線バスも大網病院に固執するのではなく、もっと先の行き先を考えると、利用者増が期待できるのではないかと、このアンケート結果から読み取れると思います。ですので、このルートは色々な行き先を取り入れていて、上手くまとまっていると思います。私は、大網病院は行き先に加えるべきと考えています。

(轟会長)

考え方は色々ありますので、何か制約だったり、或いは優先していくかという問題が出てきますから、しっかりと議論はすべきかなと思いますが、今の点について、事務局いかがでしょうか。

(事務局)

色々なご意見ありがとうございました。

このルートはあくまでも（案）になります。実際運行している小湊鐵道さんの方からも意見いただきましたので、住民説明会等で意見をいただきながら、ルート等については検討を行って参りたいと考えております。

あくまでも案ということで、お示しした内容となります。

(轟会長)

その他何かありますでしょうか。

(小野委員)

2点、小湊鐵道さんにお伝えしたいのですが、昨年3月にみずほ台循環が撤退してしまったところですが、おそらくですね、住民はバスが復活して欲しいというのが本音だと思います。それはできないので、やむを得ずコミュニティバスの導入になっている。

2点目、利用者は便利な物を使うんです。便利でない物は使いません。

それを念頭に置いて、ルート等を考えるに当たり、競合する・しないという形で判断するのはまずいと思います。

バスを走らせて欲しいというのが市民の気持ちだと思います。そこを一番汲み取っていただきたいと思います。

(深山委員)

瑞穂地区から大網駅に行く分に関しましては、弊社の都合で路線バスが休止しているところでもあり、コミュニティバスを運行することに関しては特にございません。

ただ、大網駅から大網街道を通るルート、詳しく言うと、コミュニティバスの利点は、大網病院の入口まで直接入るので、大網病院に行く方の利便性が高くなります。

実際問題やはりこの路線自体は国県補助をいただいている中で、補助要件の15人/日を大幅に超えているわけではございません。

このコミュニティバスを運行するにあたって、路線バスの乗車人員が減ることによって、国県補助から外れることになると、便数自体を減らす、減らして乗車率を上げるという話になってくるんですね。

(小野委員)

それは既存で今走っている大網からサンライズ九十九里に行くバス便が減るかもしれないという話ですか。

(深山委員)

そうですね、白子車庫線、サンライズ九十九里路線に影響が出るとは考えております。

(小野委員)

要は、その区間の利用者が減るとお考えですね。

(深山委員)

はい。目的地が被っている以上は、実際運行してないからわからないところもありますけども、コミュニティバスの方に2、3人乗るということは、実際今まで路線バスを利用していた方がその分減ると考えるのが妥当かなと思っております。

実際今日もそのバスを見ていて、大網駅に向かうバスの利用者が、やはり3人以上とか10人以内、もっと少ないと思います。

そういった環境の中で走っております。もちろん朝は、30人以上利用されていたりしますが、利用者の少ない便数も含めて、対応しているところなので、そこに影響が出てくると、やはり全体に影響が出るとおもわれます。

(小野委員)

そういう形で考えていくと、大網に住むことが難しくなってきます。特に老人が。

そこが一番怖いところだと私は思います。

私はこの市に住んで50年になります。場所は大体白里中学校付近、あの辺りは昔、何もありませんでした。だから、路線バスというものが非常にありがたかった。

なぜかという、1時間に2便走ってくれている。これは凄く精神的に頼りになります。

1時間2便というのは、非常に何て言いますか、使いやすい便だなと思っていて、今でもそういう意味ではありがたく思っています。

ただ、その便数を減らすっていうことは最終的にはですね、この地に住むことができないという気持ちと呼び起こす可能性があります。

そのあたりをもう一度会社の中で、ただ単にその自分の会社の利益だけではなくて、もう少し広い意味での社会性というものを考えていただければありがたいと思います。

それによって、もう1点、安心して人が住めるということで、今運行している海岸から大網駅までのバスがあることによって、あの沿線に安心して住めるわけです。

足がなくなったら安心して住めない。という恐怖感を持って私もこの席にいます。

そういう人が多くなってきています。実際私の自治会でもですね、毎年1人2人抜けていきます。どういうケースかという、高齢になって免許返納して、もしくは高齢になって免許を持っている身内が亡くなる。最初は、半年とか1年頑張っていますが、それがだんだん立ち行かなくなって、最終的にはもうここに住めなくなるというケースが非常に多い。

それが人口減に繋がってくると思います。

私の手元にですね、市の人口の変遷がありまして、白里地区の人口は平成5年に約9,500人いましたが、令和6年度は約6,400人。大幅に減ってしまっています。

そういうことになって最終的にはバスの利用者減にも繋がってくる。だから、再々お願いしたいのですが、安心して住める町にするにはどうしたら良いか、もう一度念頭に置いて考えていただければと思います。

(深山委員)

はい。先ほどもお伝えしたとおり、国県補助をいただいて運行している中で、赤字を補填していただいているのみなので、儲けは出ていないところです。

このコミュニティバスについてこれだけ意見を上げさせていただいているのは、国県補助から外れてしまっていると、赤字路線になってしまうわけです。

赤字路線を維持していくのは、正直難しい話なので、公共性が高いとは言え株式会社ですから、利益を求めていかなければならないところがあるので、赤字路線というのはどうしても見直していかなければならないところです。

路線の見直し等をなんとか防ぐためにも、国県補助をいただいて運行しているところですので、やはり大網駅から大網病院間のルートは、デリケートな案件になると思います。

ですので、大網駅から大網病院までのルートは、再度検討していただきたいところです。

何とか折り合いがつくような話に持って行きたいところです。市民のニーズ等も凄く分かりますし、バス会社としては凄く頭の痛いところではありますが、弊社の意見も考慮していただければと思います。

(轟会長)

ありがとうございます。

バスルート等の設定については、色々な意見等もありますので、どこで折り合いをつけていくかという話になります。

つまり利用者の個別の利便性は当然求めたほうが良い、ただ、全体最適と言いますか、地域全体でのコミュニティバスと路線バスの維持ですよね。

これももう共存維持の段階に入っていますので、それも含めて検討していく必要がある。

言ってみればやはり大網病院へ行く方が多く、バス事業者にとってみればそこが収入減になっています。その利用者が減ってしまうと、採算が合わなくなってしまって、撤退になりかねない。そうすると、今度は、利用者が不便になる。

このところは実際に運行しないと、どうなるかわかりませんが、上手く調整していかないとはいけません。

そこをですね今後、地元の方々・事業者さんの意見も取り入れて、最終的に決定をして、この場で最終決定ということになると思いますけど、そういうことをどこかで折り合いをつけていかなければ、中々難しい問題だと思います。

ですので、忌憚のないご意見を皆さんからどんどんいただいて、その中で折り合いをつけていければいいかなと思っています。

その他いかがでしょうか。

(永田委員)

先ほどの大網駅・大網病院の件について、今後、地元の説明会が予定されていると思うのですが、その際、現在どのように大網病院まで行っているのか調査をすれば良いと思います。

大網駅まで歩いて、ないし自転車・マイカーで送ってもらって、路線バスに乗って大網病院に行っているのか。そのあたりを調査されてはいかがかと思います。

もう1点、導入後も1年間は実証実験になると思います。

この1年間でどのくらいの利用者・路線バスへの影響があったのか実証調査されれば良いと思います。

私は先ほど申し上げた通り、逆にプラスの面も出てくると思います。

それこそ、この1年間が実証実験の場になり、より良い公共交通の全体最適に繋がっていくと考えています。

(轟会長)

ありがとうございました。

今のようなしっかりと見極めをしていくというのは、既存のデータもですし、実証実験中のそういった動き、データ等も踏まえて最終的な決定を行っていくのかなと思います。その他いかがでしょうか。

なければ、私から改めて確認ですが、今後の流れとしては、今日提案いただいた運行計画・ルート案は、まだ案の段階で、実証実験開始の令和8年度までは、1年近く議論をする機会があるということによろしいでしょうか。

(事務局)

はい。そうなります。

(轟会長)

分かりました。

ではしっかりと皆さんとこの場に限らず、議論をしていければと思います。

その他よろしいでしょうか。

それでは、議題（４）「公共交通に関するアンケート調査の結果について」、議題（５）「瑞穂地区への新たな公共交通の導入検討について」は、瑞穂地区へのコミュニティバス導入について協議会として承認し、準備を進めることとしてよろしいでしょうか。

～異議無し～

ありがとうございました。

それでは、次に報告事項として、議題（６）「大網白里市コミュニティバス共通回数券の新料金区分の設定について」事務局より説明をお願いします。

(事務局)

～事務局より、コミュニティバスの共通回数券の新料金区分の設定について・運賃協議分科会の開催について説明～

(轟会長)

ありがとうございました。

報告事項ですので、ご意見等よろしいでしょうか。

それでは、続きまして、議題の4その他について、何かございますでしょうか。

(事務局)

事務局より1点報告させていただきます。

～参考資料に基づき、白里地区コミュニティバスの運行実績について報告～

(轟会長)

ありがとうございました。

その他ございますでしょうか。

(小野委員)

今回実施されたアンケートについて、この中に、これからの大綱における公共交通がどうあるべきかということを示唆する結果が読み取れました。

見方は色々だと思いますが、結果より、大綱というのは非常に自家用車の保有率高い。

全体としては、85%が自家用車を保有しています。

ただ、逆に読み取れるのは、自家用車がなくなった時、どうするのかということです。

それ以外の項目でも、アンケートというのは非常に大きな多くの示唆を含んでいて、様々な観点から、このデータを見るとですね、結構いろんなことが見えてきますので、新しい交通システムを導入する場合等においても、アンケート結果をじっくりと見ていただければと思います。

(轟会長)

その他いかがでしょうか。

それではその他も以上とさせていただきます。

活発にご議論いただきました内容は、大変重要な問題で将来に向けて、公共交通がどうあるべきかというところです。

ご意見にもありましたが、大体、このような郊外の地域は、自動車に頼る交通体系になります。ただ、これが果たして地域にとっていいのか。

高齢化も進んできますし、環境問題もありますから、こういったようなものも含めて、この地域がどうあるべきかという都市計画のあり方も含めて議論が、本来は必要かなと。このように思っております。

それでは忌憚なく皆さんにたくさん議論いただきましたが、引き続き、難しい問題もありますが皆さんとともに議論して、解決できればと思っております。

ありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお返しします。

5 閉会

(事務局：久保)

委員の皆様におかれましては長時間にわたるご協議ありがとうございました。
以上をもちまして、令和6年度第3回大網白里市地域公共交通活性化協議会を終了とさせていただきます。

なお、この後、運賃分科会を開催いたしますので、関係する委員の皆様におかれましては、2階会議室までご移動をお願いいたします。

お疲れ様でした。

終了 11:40